

令和 2 年度 米子市社会福祉協議会事業報告書

I 総括及び重点目標の取り組み状況

＝重点目標＝

- 1 組織体制と財政基盤の強化
- 2 地域福祉事業の推進
- 3 生活支援・総合相談事業の推進
- 4 広報活動の推進

米子市社会福祉協議会では、誰もが自分らしく安心して生活を送ることができる地域社会を目指し、支え合いのまちづくりに取り組んでまいりました。

令和 2 年度は新型コロナウイルスが猛威を振るい、日本社会も大変厳しい状況が続いています。飲食店をはじめ多くの業種で休業や収入減になり生活にお困りの方が急激に増加しています。こうしたなかで、生活が困難な世帯を支援するため、生活福祉資金の特例貸付や自立相談支援における相談支援等に取り組みました。

この取り組みにおいて、非正規雇用の方や休業に追い込まれた方、ひとり親世帯の方、在日外国人の方等、今まで見えにくかった課題が浮き彫りにされました。

今後も人々が自立した生活に向かえるよう相談、支援を強化していくことが必要になります。関係機関と連携し、一層相談支援に取り組んでまいります。

また、コロナ禍において地域では人と人とのかかわりが少なくなり、高齢者の方や障がいのある方は、つながりが失われ孤立することも懸念されます。地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、今後も地域住民やボランティアの方、地区社会福祉協議会、民生児童委員等関係機関、団体と連携し、地域の課題、ニーズに基づいた活動に取り組んでまいります。

II 事業実施報告

1 法人運営事業

会議の開催及び参加、事業の企画立案及び実施と諸規程の整備、苦情対応と情報公開の推進等、適正な法人の運営、財政の健全化と組織の強化に努めた。

(1) 会議の開催

ア 正副会長会の開催

正副会長会を開催し、理事会、評議員会提出議案等について協議した。

イ 理事会の開催状況（4回）

開催日	内容等
令和2年6月12日 (書面決議)	・令和元年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認 ・定時評議員会の招集事項議決
10月15日 (書面決議)	・米子市社会福祉協議会長表彰候補者の決定 ・評議員候補者の選任 ・事務専決及び代決規程の改正議決 ・事務局組織規程の改正議決
令和3年1月28日	・報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について 令和2年度財政状況について ・福祉基金設置規程の改正議決 ・居宅介護事業及びデイサービス事業の収支不足分の取扱いについて ・敬老お祝い事業（米寿記念品）について
3月11日	・報告事項 会長、常務理事の職務執行状況について ・福祉基金の取崩決議 ・令和2年度補正予算同意 ・令和3年度事業計画、収支予算同意 ・評議員会の招集議決

ウ 評議員会開催状況（2回）

開催日	内容等
令和2年6月26日 (書面決議)	・令和2年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録承認
令和3年3月30日	・令和2年度補正予算議決 ・令和3年度事業計画、収支予算議決

エ 監査会開催状況

開催日	内容等
令和2年5月29日	・令和元年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の監査

オ 委員会の開催

①評議員選任・解任委員会

評議員を選任する評議員選任・解任委員会を開催し、評議員候補者について審議し、欠員の評議員4名を選任した。

- ・開催日 令和2年11月18日
- ・出席者 3人（委員2人、市社協1人）

(2) 規程の改正の状況

- ・事務局組織規程の改正
- ・事務専決及び代決規程の改正
- ・福祉基金設置規程の改正

(3) 評議員の選任状況

ア 評議員の補欠選任

令和2年11月18日付

評議員に欠員が生じたため補欠選任を行った。

- ・2号評議員 4人
田村保之、近藤芳男、高橋誠一、戸田隆雄

(4) 苦情対応

苦情対応の体制整備のため、苦情解決第三者委員を設置し研修会へ参加した。

ア 苦情解決第三者委員

本池美由樹、松本 眞、鎌田真治

イ 研修会の参加

- ・福祉サービス苦情解決事業研修会
期日 令和3年3月3日 オンライン開催
参加者 1人（市社協1人）

(5) 財政の健全化

自己財源確保を目指し、収益事業として始めた自動販売機設置事業が効果的な設置を行うことで増収となった。この収益は、各学校に図書を贈る活動など地域福祉事業の財源の一部として活用することができた。

また、香典返し寄付金の減少傾向に対して、寄付金税額控除について広報などにより寄付金についての周知に努めた。

福祉の地域づくり自動販売機の状況（令和3年3月31日現在）

区分	実績額（円）
販売手数料	833,402

会費の状況（令和3年3月31日現在）

区分		実績額（円）
一般会費	38,250世帯	22,950,000
団体会費	91件	455,000
賛助会費	153件	1,193,000

寄付金の状況（令和3年3月31日現在）

区分	実績額（円）
一般寄付	421,017
香典返し	7,467,500

（6）情報公開

本会の事業内容、事業計画・予算書、事業報告・決算書について「よなご社協だより」及び本会ホームページに掲載した。

（7）広報活動の実施

市民に対する福祉意識の啓発のために、広報活動として、会報を発行するとともに、ホームページによる情報発信、PR活動を行った。

ア 会報「よなご社協だより」の発行全戸配布

年4回発行 158号～161号

1回当たり発行部数 46,200部

イ ホームページによる情報発信

福祉サービスの内容、行事等随時更新し充実を図った。

（8）人材育成

職員の能力向上、育成を目指し、職員研修会を企画し、職員の人材育成を行うとともに各種研修に参加した。

また、福祉人材の育成では、社会福祉士等の養成のため実習生を受け入れた。

ア 職員研修会

・開催日 令和3年2月25日、3月5日 56人参加

・内容「災害時における社会福祉協議会の役割」

「災害時の初動と社協と社協職員」

イ 実習生の受入れ

・社会福祉士養成実習 2人

・保健師養成実習 2人

・看護師養成実習 5人

・地域医療専門職養成実習 8人

(9) 大会の開催及び参加

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大会やイベントの開催を中止した。

ア 米子市精霊会・流灯会（開催中止）

- ① 開催期日 令和2年8月16日
- ② 会場 米子市湊山公園

イ 県民総合福祉大会（書面開催・参加中止）

- ① 開催期日 令和2年9月17日
- ② 会場 倉吉未来中心

ウ 米子市福祉のつどい（開催中止）

- ① 開催期日 令和2年9月27日
- ② 会場 米子市民体育館、東山陸上競技場

エ 米子市社会福祉大会（開催中止）

- ① 開催期日 令和2年10月20日
- ② 会場 米子市福祉保健総合センター

オ 米子市民余芸大会（開催中止）

- ① 開催期日 令和2年12月12日
- ② 会場 米子コンベンションセンター

(10) 顕彰の実施

本市における社会福祉事業の推進に功績のあった個人、団体に対し、表彰又は感謝状を贈呈した。

①社会福祉事業表彰

- 1) 永年在職団体役員 23人
- 2) 永年在職民生児童委員 32人
- 3) 永年在職施設団体職員 51人

②社会福祉事業感謝状

- 1) 社会福祉協議会役員功労者 2人
- 2) ボランティア団体 1団体
- 3) 永年在職在宅福祉員 21人
- ③在宅福祉員特別感謝状 26人

(11) 職員の衛生管理

職場の環境改善や職員の健康保持増進を図るため、衛生委員会を開催し、衛生に関する調査審議するとともに健康診断、ストレスチェック、研修を実施した。

ア 衛生委員会 12回開催（令和2年4月10日、5月8日、6月12日、

7月10日、8月6日、9月11日、10月9日、11月13日、12月11日、令和3年1月15日、2月12日、3月12日)

イ メンタルヘルス研修会（管理職対象）

・開催日 令和2年6月9日 7人参加

ウ 感染症対策研修会

・開催日 令和2年11月9日 35人参加

エ 健康診断 56人受診（10～12月）

ストレスチェック 56人受診（11月）

(12) 米子市社会福祉法人等連絡会の開催

米子市社会福祉法人等連絡会は新型コロナウイルス感染防止のため中止した。開催の可否、今後の取組みについて検討するために役員会を開催した。

・役員会の開催 令和2年12月7日

2 地域福祉事業

地域福祉活動を推進するために地区社協等の地域活動団体を中心とした各種事業を実施した。また様々な事業所や関係機関、住民団体、行政等との連携、協働を図りながら地域福祉の向上に資する活動を行った。

(1) 地域支援事業

ア 地域福祉コーディネート事業（市行政委託事業）

地域福祉コーディネーターを配置し、各地区における地域福祉活動への協力、支援を行った。

イ 地域力強化推進事業（市行政委託事業）

市内の一部地域において、コミュニティワーカーを配置し地域福祉活動の推進を支援するモデル事業を行った。

① 「福祉なんでも相談」の実施

モデル地区内の地域活動支援、福祉総合相談の受付、課題解決を目的に「福祉なんでも相談」を実施した。

- ・地域活動支援（義方） 実相談21件 延べ相談81件
- ・福祉総合相談（〃） 実相談21件 延べ相談43件
- ・地域活動支援（啓成） 実相談11件 延べ相談19件
- ・福祉総合相談（〃） 実相談12件 延べ相談15件

② 自治会活動状況の把握

モデル地区内自治会活動の現状や課題把握を目的に自治会長を訪問し、活動状況の聞き取り及びまちあるきを実施した。

- ・自治会活動状況把握（義方） 4自治会
- ・自治会活動状況把握（啓成） 26自治会

③ 「地域ささえあい会議」の開催

地域福祉課題解決のために住民同士が話し合う場づくりを行った。

- ・義方地区 1 件 ・啓成地区 1 件

④ 研修会、イベントの実施

地域住民に対し地域福祉への理解、啓発を目的とした研修会、イベントを実施した。新型コロナウイルス感染防止のため、多人数による研修会は中止としている。

- ・義方地区 2 件 ・啓成地区 3 件

⑤ 福祉教育授業の実施

児童、学生に対し地域福祉活動の理解を目的に福祉教育授業を行った。

- ・義方小学校児童 7 8 名 ・鳥大医学部保健学科学生 2 名

⑥ 地域包括支援センターとの連携協力

モデル地区内担当の地域包括支援センターと、個別ケース対応について連携し、課題解決のための支援を行った。

⑦ 「精神障がい者等に関する地域支援モデル研究事業」との連携協力

当該事業登録支援員等検討会へ参加し協力を図った。個別ケース対応について当該事業と連携し対応した。

⑧ 事業説明、周知活動

地域活動団体、事業所や企業等に対して本事業の説明、周知を図った。

- ・地域活動団体 4 件 事業所、企業等 2 1 件（義方）
- ・地域活動団体 1 8 件 事業所、企業等 3 件（啓成）

ウ 米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理（市行政協働事業）

米子市と協働し、米子市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗管理を行った。また個別検討会を開催し、総合相談支援センター、地域福祉活動推進に関わる協議を行った。

- ・推進委員会 2 回 ・個別検討会 5 回

エ 地区版福祉のまちづくりプラン作成の推進

地区版福祉のまちづくりプランの作成を通じて、住民自身が地域課題を把握し、課題解決に向けた具体的な福祉活動を検討し取組むことにより、地域福祉活動の推進を実践した。また既に計画を作成された地区における進捗状況の点検、今後の取組みへの支援を行った。

地区	内 容	回数
福生東	計画策定後の推進委員会、分科会への参加	9 回
	計画で企画された活動の支援	1 2 回
福生西	計画策定後の推進委員会、分科会への参加	3 回
県	計画に関する打合せ、協議	2 回
	地域福祉推進委員会の開催	3 回
加茂	計画に関する打合せ、協議	7 回
	地域福祉推進委員会、分科会の開催	1 0 回

オ 地域での福祉教育の推進

各地区が開催する研修会等に参加し、地域福祉について理解の促進、啓発活動を行った。

カ 地域立子どもの遊び場の支援

地域住民参加の団体で運営している遊び場を登録し、助成を行った。

地域立子どもの遊び場設置数（市社協登録施設） 100施設

キ 各公民館・自治連合会・民生児童委員協議会等との連携

地区内の各種関係団体と連携、協力しながら地域福祉の推進に向けた活動を実施した。

(2) 小地域ネットワーク事業

ア 在宅福祉員による見守り援助活動の推進

一人暮らし高齢者、高齢者世帯等を対象に、困りごとの早期発見や安否確認を目的とした在宅福祉員による見守り援助活動を行った。

・在宅福祉員数 773人

・見守り援助活動対象者数 4,335人

・見守り援助活動利用者数 3,008人（延べ利用者数23,741人）

・歳末見守り援助活動利用者数 3,519人

イ ふれあい・いきいきサロン活動の推進

日中閉じこもりがちな高齢者等が定期的に集うことにより、日中活動の充実や住民同士の繋がり、困りごとの早期発見を目的としたふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

・ふれあい・いきいきサロン設置数 149サロン

ウ 支え愛マップづくり活動の推進

小地域（自治会・町内会域）において災害時の要援助者避難支援や、平常時の見守り体制構築を目的に作成する住民の支え愛マップづくり活動について、市内各自治会に対して事業内容、マップづくり作成手法等の説明会を実施し支え愛マップづくり活動の支援を行った。

また、災害時における支え愛地域づくり推進事業について市内各自治会長をはじめ地域住民に周知し、災害時の支えあい活動における補助事業の活用啓発、申請相談及び支援を行った。

・支え愛マップの作成支援 22件

・補助金制度の説明 31件

・関係者連絡会（県社協主催）への参加 3件

(3) 地区社協活動支援事業

ア 地区社協活動財源の支援

地区社協に対し補助金を交付し、地域福祉活動に対する支援を行った。

イ 地区社協への各種情報提供

県内で開催される研修会等の情報を地区社協に発信するとともに、地区社協からの相談に応じ、適宜必要な情報提供を行った。

ウ 米子市地区社会福祉協議会長連絡会の事務局運営

米子市地区社会福祉協議会長連絡会の運営に協力するとともに、地域福祉活動の支援、協働を推進した。新型コロナウイルス感染防止のため、3回は書面決議を行った。

- ・令和2年5月（書面決議）、令和2年8月（書面決議）、令和2年12月（書面決議）、令和3年2月9日（連絡会開催）

エ 米子市在宅福祉員代表者連絡会の事務局運営

米子市在宅福祉員代表者連絡会の運営に協力するとともに、在宅福祉員活動の支援、協働を推進した。新型コロナウイルス感染防止のため、代表者連絡会、合同研修会を併せて実施した。

- ・在宅福祉員代表者連絡会、合同研修会 令和2年11月30日
- ・在宅福祉員代表者連絡会 正副会長会 令和2年7月29日、11月6日

3 生活支援・総合相談事業

(1) 生活困窮者自立支援事業

ア 自立相談支援事業

経済的かつ社会的困窮状態にある方に対して、包括的かつ継続的な相談支援、同行支援、求職活動の支援、自立支援計画の作成等を実施した。コロナ禍において新規相談件数が飛躍的に増加した。プラン作成件数が増えてきており、自立に向けた支援を行っているが、相談件数の増加がプラン作成を上回っている。

相談者の状況に基づくアセスメントから必要に応じた他機関への同行支援等を行うことによって、他制度の利用や他機関との連携を図った。プランを作成し支援を行うことにより、債務の整理、就労開始や就職活動開始、医療機関への受診、障害者手帳の取得などの変化が見られた。年々、相談内容が多問題かつ複雑化していることが特徴であり、より高い専門性と情報量が他機関との連携が求められている。

相談の状況

	(件)
新規相談受付件数	1 5 2 6
新規申込受付件数（本人同意有）	4 0 3
情報提供のみで終了件数	1 8
他機関へのつなぎで終了件数	6
プラン作成件数	2 8

プラン作成評価の状況

	(件)
評価実施件数	27
終結件数	22
見られた変化あり	26
一般就労開始	6
就労収入が増加	7

支援調整会議の開催

情報共有と支援プランの適正性の確認および評価を行う。また関係機関と協議することで支援の質を確保する。毎月第2水曜日開催、合計10回開催した。

(2) フードパートナー事業

緊急的かつ一時的に食事の確保に困るほど生活に困窮している世帯に対して、生活に必要な食料等を提供する生活再建に向けた支援を行った。

支援対象世帯の状況

	件数
一般	12
貸付申請中	8
生活保護申請中	7
生活保護受給中	3
合計	30

支援対象世帯の人数内訳

世帯	件数
単身	21
2人	6
3人以上	3
合計	30

食品・食材提供者（令和3年3月31日現在）

登録者	17件
-----	-----

(3) えんくるり事業による経済的支援（現物給付）

既存の制度では対応できない、または緊急を要する場合の一時的な支援として、現物給付による経済的支援を実施した。

支援件数	4件
------	----

(4) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

日常生活に不安を抱えている高齢者や障がい者（知的・精神障がい）の方等を対象に、福祉サービスの利用援助とそれに伴う日常的な金銭管理、書類等預かりサービス等を実施した。

① 現在利用者数 (令和3年3月31日現在)

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	生活保護(再掲)	合計
46	25	14	0	36	85

② 新規契約・解約件数

高齢者		知的障がい者		精神障がい者		その他		合計	
新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約	新規	解約
0	6	1	1	1	4	0	0	2	11

③ 相談援助件数

高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
954	628	835	3	2,420

④ 内部審査会の開催

契約締結審査会の審査前に内部での審査会を開催し、契約の適正性の確認と支援プランの評価を行った。毎月第2月曜日開催、合計12回開催した。

(5) ふれあい総合相談事業の実施

日常生活の悩みや心配ごとについて、よなご暮らしサポートセンター職員が相談に応じる一般相談、法律問題について弁護士が相談に応じる法律相談を実施した。

相談の開設状況

相談種類	開設日	日数	相談延件数
法律相談	毎月第3月曜日 (変更有)	9	22
一般相談 (電話相談含む)	月～金曜日 (祝日及び年末年始の休日は除く) 午前9時～午後5時		105 (法律相談受付含む)

相談取扱件数及び内容（複合的な相談内容のため件数と内訳は一致しない）

相談者延件数	105 (件)		
相談分類	件数(件)	相談分類	件数(件)
生計	4	法律	45
年金	0	財産	16

職 業・生 業	2	事 故	4
住 宅・土 地	18	児 童 福 祉	1
家 族	9	障 害 者（児）福 祉	9
結 婚・離 婚	12	母 子 福 祉・父 子 福 祉	1
債 権・債 務	7	高 齢 者 福 祉	21
健 康・保 健・医 療	7	苦 情	11
教 育・青 少 年	0	そ の 他	23
		合 計	190

（6）資金の貸付

ア 生活福祉資金の貸付

低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、必要な相談支援ならびに安定した生活を送るための資金の貸付を行った。昨年度より資金貸付件数は増加している。

令和2年3月23日より、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付が開始となっており、令和3年6月末（令和3年3月末現在）まで申請受付となった。

資金別貸付件数及び金額

資 金 の 種 類	貸付件数（件）	貸 付 金 額（円）
福祉資金（福祉費）	0	0
緊急小口資金	9	713,000
教育支援資金	2	548,000
臨時特例つなぎ資金	6	600,000
総合支援資金	34	7,566,896
小計	51	9,427,896
緊急小口資金 （コロナ特例貸付）	1,160	197,180,000
総合支援資金 初回 （コロナ特例貸付）	871	468,430,000
総合支援資金 延長 （コロナ特例貸付）	429	230,550,000
総合支援資金 再貸付 （コロナ特例貸付）	233	124,150,000
小計	2,692	1,020,310,000
総合計	2,743	1,029,737,896

イ たすけあい金行の貸付状況

生活保護申請中の世帯を対象に、生活保護が決定される間で、第1回目の生活保護費が支給される日までの生活費として貸付を行った。

資金の種類	貸付件数 (件)	貸付金額 (円)
一時貸付		
20,000円 (1～2人世帯)	54	1,080,000
30,000円 (3人以上世帯)	5	150,000
合計	59	1,230,000

4 ボランティア活動、福祉教育の推進

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア活動の拠点として、市民のボランティアに対する理解と関心を深め、活動に必要な情報の収集・提供、また各種講座の開催等を行い、ボランティア育成・支援の推進を図った。

ア 米子市ボランティアセンターへのボランティア登録状況

- ・登録ボランティア団体 団体数(人数) 122団体(4,527人)
- ・登録個人ボランティア 登録者数 353人

イ 米子市ボランティアセンターへの相談状況

新型コロナウイルス感染防止のため、イベント、大会等の中止や介護施設等での活動が困難となり減少した。

区 分	件数・人数
新規登録	個人7人、2団体
依頼件数[要請・お願い]	24件
相談件数[助言・情報提供]* ()内は介護支援ボランティアの状況	87件、(30)件
コーディネート*()内は介護支援ボランティアの状況	21件、(14)件
その他相談等[保険・部屋利用等]	226件

ウ ボランティア講座・研修会の開催

① こころの健康講座(精神保健福祉ボランティア講座)

米子市障がい者支援課と共催

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
1	6月25日 (木)	・参加者自己紹介 ・講演「こころの健康～メンタルヘルスについて」 講師：米子市障がい者支援課 三宅精神保健福祉士	5	米子市役所 ・第2庁舎

		<ul style="list-style-type: none"> ・講演「精神障がいについて」 講師：鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田医師 		
2	7月13日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・米子市の精神保健制度について 講師：米子市障がい者支援課 中村保健師 ・講演「米子市基幹相談支援センターについて」 講師：米子市基幹相談支援センター 光岡主任相談支援専員 ・講演「病院から地域に繋ぐために」 講師：西伯病院 高田地域連携室室長 	5	
3	7月30日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「発達障がいとひきこもりの基礎知識」 講師：鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田医師 ・当事者の話 高光さん ・講演「発達障がいについて」 講師：発達障がい児親の会 CHERRY 岡野さん 	6	
4	8月20日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「ボランティアの心構え」 講師：米子市ボランティアセンター 定常有紗 ・講演「先輩ボランティアの話」 講師：長谷川さん ・米子市デイケア『こころの広場』に参加交流 	5	米子市役所 ・第2庁舎 ・旧庁舎
5	9月7日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・養和病院デイケア『たんぼぼ』に参加交流 ・あんずあぷりこ作業所見学 	6	・養和病院 ・あんず あぷりこ
合計			27	

②レクリエーション講座

対象者を地域のサロン等で活動する世話役の方とした。第1回、第2回は新型コロナウイルス感染防止のため開催を中止とした。

	開催日	講座内容	受講者 (人)	場所
3	2月16日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防について 講師：米子市健康対策課 保健師(2/16)真砂佑子さん、(2/19)川口育美さん 	10	ふれあ いの里
4	2月19日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳が喜ぶ！笑う！臨床美術 講師：臨床美術士 足立忍さん 	7	
合計			17	

③「ミニぼらんていあ祭」米子市ボランティア協議会と共催

11月21日（土）に開催予定であった「ミニぼらんていあ祭」は、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

エ ボランティア活動保険加入の受付窓口

① ボランティア活動保険…ボランティア活動中におこる事故から活動者を補償する保険。

新型コロナウイルス感染防止のため、イベント・大会等の中止が相次いだことや、介護施設等における活動が実施できないことから、高校生（ボランティア体験事業）、個人ボランティアの加入者が減少した。

加入受付件数 82 件

区分	加入者数（人）	備考
在宅福祉員	779	補助金 @350
高校生（ボランティア体験事業）	42	補助金 @500
個人ボランティア	1,226	
総計	2,047	

② ボランティア行事用保険…本会をはじめ、その構成員や会員である団体・グループなどが社会福祉事業の一環から主催する様々な行事でのリスクに備えるための総合補償制度。

新型コロナウイルス感染防止のため、イベント・大会等の中止が相次いだため、加入団体が減少した。

加入受付件数 23 件

③ 福祉サービス総合補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う在宅福祉・地域福祉サービスでの様々な事故に対する備えとしての総合補償制度。

加入受付件数 10 件

④ 社協の保険…本会が行う業務を補償。 加入受付件数 1 件

⑤ 送迎サービス補償…本会を始め、その構成員や会員である施設、団体、その他のグループ等が行う送迎サービスでの様々な事故に対する備えとしての補償制度。 加入受付件数 15 件

⑥ 事故発生件数…ケガの補償1件の事故が発生した。

取扱件数 1 件

オ 米子市ボランティアセンター会議室の利用状況

貸室については、4月14日から6月30日の間（研修室1は9月30日まで）、緊急事態宣言（新型コロナウイルス感染症）の発令により施設の利用に制限が掛けられたことや、特定給付金対策室として使用されたことにより利用が減少した。

部屋別利用状況（開所日数：239日）

	ボランティア室	録音室	研修室1	研修室2	録音録画室	合計
件数	102	0	157	233	289	781
人数	752	0	1,628	2,665	896	5,941

利用目的種別状況

	会議	学習会	作業	録音	録画	その他	合計
件数	184	240	4	265	24	64	781
人数	2,146	2,449	18	823	73	432	5,941

カ ボランティア器材の貸出し

器材名	件数
スタッフジャンパー	0
アイマスク	0
ボランティア関連書籍	7
移動式スクリーン	2
昼（半畳）	0
DVD	1

キ 広報活動・情報提供

① 情報誌「ぼらんていあ情報」の発行（米子市ボランティア協議会共同発行）

年6回（偶数月）1回当たり2,200部を発行し、公民館、社会福祉施設、小・中・高等学校、専門学校、病院、市役所、ボランティアグループ、銀行・信用金庫各支店、バスセンター等に配布。社協ホームページ内にも掲載。

6月号については新型コロナウイルス感染症の流行により、イベント・大会等の中止が相次いだことや、施設等における活動が行えなくなったことから、掲載記事が減少したため休刊とした。

② ボランティア情報掲示板の設置

ボランティアセンターのフロアに掲示板を設置し、ボランティア募集、ボランティアに関するイベント・講座等の情報提供を行った。

ク 情報収集

ボランティア受け入れ施設・ボランティアグループの調査。

鳥取県西部地域における各関係機関・施設及びボランティアグループ・団体に対し、ボランティア募集について随時調査を実施した。

ケ ボランティア体験事業

鳥取県社会福祉協議会との共催事業。新型コロナウイルス感染防止のため、受け入れ施設の減少により参加者が減少した。

参加者 50人（体験事業受入協力 34施設）

コ 米子市介護支援ボランティア事業

登録人数 80人（事業受入協力 67施設）

サ 障がい者理解と防災意識の啓発

9月27日(日)、米子市・米子市ボランティア協議会との共催事業「米子市福祉のつどい」を米子市民体育館、東山陸上競技場等において開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。

シ 米子市ボランティア協議会の事務局及び運営協力

ス 災害ボランティアセンター

災害ボランティアセンターの設置、運営方法等についての情報収集を行った。

(2) 学校での福祉教育の推進

ア 福祉教育推進校指定

福祉の心が家庭・地域・学校などで体験的に培われるよう、市内36全小・中・特別支援学校を福祉教育推進校に指定して、児童生徒に対する福祉教育の推進を図るため、1校30,000円の助成を行った。

・福祉教育推進校育成助成状況

区 分	育 成 助 成 (校)
小 学 校	23
中 学 校	11
特別支援学校	2
計	36

イ 福祉教育推進研究協議会の開催

新型コロナウイルス感染防止のため、小中学校校長会にて事業説明、協議を実施した。

ウ 福祉教育実践記録集の発行、配布

各学校の福祉教育に関わる取組みをまとめた福祉教育実践記録集を発行し、各学校、関係機関へ配布した。

エ 図書贈呈事業

自動販売機の収益を使い、児童・生徒が本に親しみ、感性と創造力を豊かに育む目的で小中学校に図書を贈呈した。

・実績額 9校 223,098円

・図書贈呈状況

区 分	贈呈校(校)	
小 学 校	6	福生西小、福米東小、福米西小、加茂小、河崎小、住吉小
中 学 校	3	湊山中、後藤ヶ丘中、美保中

5 地域包括支援センター運営事業

担当地区（啓成、車尾、福生東、福生西、福米東、福米西）

令和2年度は、コロナ禍により昨年まで進めてきた活動を中断せざるを得ない状況となった。その中で取り組まれた地域活動に参加・支援を続け、地域支援ネットワークづくりを進めた。

地域包括ケアの構築に関しては、地域ケア会議や、居宅介護支援事業所連絡会の開催を、ITを活用した新たな会議の形に取り組み、開催することが出来た。高齢者の相談や自宅での会議などにもITを活用することで、遠方の家族とタブレットで面会しながらの相談対応や、密を回避した会議を開催することができた。

また、啓成地区で年代を問わず集える新しい形の場づくり支援や、健康対策課に配置された地区担当保健師とともに個別訪問や健康相談会にも取り組んだ。

ア 総合相談・権利擁護業務実績

高齢者の総合相談窓口として、介護・保健・医療・暮らし等に関して様々な困りごとに対応している。コロナ禍により、相談が電話や来所による件数が増加した。相談内容としては、閉じこもりや他者との交流が減ったことに起因した生活のしづらさに関するものが多くあった。また、担当エリア外の相談が著しく増加し、対応に苦慮した。

()内は昨年度実績

相談件数（延べ件数）			
電話	訪問	来所	合計
30,453(28,927)	10,487(12,214)	1,107(712)	42,047(41,853)

* 担当地区以外からの相談件数 201件（159件）

()内は昨年度実績

相談内容（延べ件数）					
介護保険サービス	地域支援事業（介護予防）	その他福祉	権利擁護関係	その他	合計
26,918 (28,582)	4,748 (3,155)	1,761 (1,835)	243 (45)	1,542 (519)	35,212 (34,136)

イ 介護予防ケアマネジメント業務実績（延べ件数）

予防給付は、要支援認定者の介護保険利用件数、予防事業は、総合事業の利用件数となっている。新規利用者の実人数は287人と昨年より41人増だった。

()内は昨年度実績

予防給付	予防事業	合計
6,809(6,629)	718(696)	7,527(7,325)

ウ 地域におけるネットワーク構築業務実績（延べ件数）

地区担当職員を中心に地域活動に参加し、地域支援ネットワーク構築に努めた。地域活動が中止となる中、在宅福祉員の見守り支援活動に同行し実態把握業務に力を入れた。

（）内は昨年度実績

地域ニーズの把握・啓発・ネットワーク構築	実態把握	地域ケア会議	地域密着運営推進会議
330 (374)	605 (598)	29 (44)	68 (68)

エ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務実績（延べ件数・回数）

介護支援専門員からの相談対応や地域・医療との連携のための研修会を事業所の主任介護支援専門員と一緒に計画・運営している。コロナ禍ではあったが、地域の介護支援専門員からの強い要望もあり、ITを活用した新しい研修会の形にも挑戦した。内容は、高齢者の暮らしを支援するをテーマとして取り組んだ。

（）内は昨年度実績

ケアマネ個別支援（件）	研修会・他機関との連携会議（回）	居宅連絡会（研修会・事例検討）（回）
803 (1,051)	314 (350)	6 (8)

オ 地域支援体制構築

介護予防地区講座支援では、公民館の講座で介護予防に関する情報提供を行った。また、サロン支援では、コロナ感染対策の情報提供や実態把握に努めた。認知症理解啓発事業は、小学校での絵本教室やタッチパネルを使用した物忘れ検診は、感染のリスクを回避できず激減した。

（）内は昨年度実績

介護予防地区講座支援（回）	サロン支援（回）	認知症理解啓発事業（回）	タッチパネル式物忘れ簡易健診（人）
22 (35)	40 (39)	1 (15)	25 (127)

カ 緊急通報受信実績

緊急通報装置付き電話を設置している高齢者の電話対応をしている。電話を設置されている高齢者宅を年に一度訪問し、実態把握を行っている。相談電話の対応は、ふれあいの里にある他部署に関する内容も含め夜間・休日の受信が増えている。

（）内は昨年度実績

受信件数	3件(0)
------	-------

キ 実習生受け入れ

地域で活躍される福祉・医療の人材育成を支援している。今年度は、コロナ感染者の発生状況により実習をお断りした。医療センターの実習はすべて中止となり、講義と学内実習の支援を行った。

()内は昨年度実績

米子北高等学校(人)	鳥取大学(人)	訪問看護師養成(人)	T-HOC実習(人)	合計(人)
2 (2)	3	2 (3)	6 (7)	13 (20)

6 米子ファミリー・サポート・センター運営事業

米子ファミリー・サポート・センターは、地域の子育て支援を図るため、育児の援助を行いたい者（援助・両方会員）と受けたい者（依頼・両方会員）を会員として組織化し、アドバイザーが仲介に入り、会員相互の育児支援活動を行った。

広報活動や援助活動の調整及び各種講習会や会員交流会を開催し、他のファミリー・サポート・センターや関係機関との連絡調整を行った。

ア 会員数について（令和3年3月31日現在）

依頼会員	838人
援助会員	231人
両方会員	28人
合計	1,097人

イ 研修・会合開催状況について

- ① アドバイザーとサブリーダーの連絡会を年間7回行った。（新型コロナウイルス感染防止のため5～7月は中止）
- ② 依頼会員の登録説明会を年間86回実施した。（うち日曜開催1回）
- ③ 安心安全な子どもの預かりを行うため、「普通救命講習」や「子どもの心と体の発達とその問題点」など、2日間で合計10時間程度の『援助会員養成講習会』を年間1回実施した。（新型コロナウイルス感染防止のため5月は中止）
- ④ 相互援助活動の質の維持、向上に努めるため、既存の援助・両方会員に対して事故防止に関する講習会『救急救命講習会』を実施した。（新型コロナウイルス感染防止のため8月は中止）
- ⑤ フォローアップ講習会では、～やさいっておいしいね♪やさいたっぷりレシピ～と題し、管理栄養士の指導のもと調理動画を撮影し、YouTubeに載せて会員に紹介した。
- ⑥ 会員同士の交流を図るために『会員交流会』として「多肉植物の寄せ植え」を行った。（新型コロナウイルス感染防止のため7月は中止）

内 容	開催数 (回)	会員登録者 実数 (人)	参加者数	
			延べ人 数 (人)	備 考
アドバイザー、サプリーター連絡調整会	7		66	
依頼会員登録説明会	86	86	142	家族(会員の子ども等)同席者も含む
援助会員養成講習会	1	援助会員5 両方会員0	38	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
救急救命講習会	1		11	講師、託児(会員の子ども)、託児要員を含む
フォローアップ講習会	1			
会員交流会	1		24	出演者、会員の家族及び子どもを含む
合 計	97	91	281	

- ・ 援助会員養成講習会は参加希望者が少なく、援助会員の確保に苦慮している。
- ・ 週に2回依頼会員登録説明会を行っているが、コロナ感染拡大防止のために個別対応とし、随時受付した。
- ・ 平日に入会に来られない方を対象に、2月7日(日)に登録説明会を実施した。
(1名の入会)

ウ 活動状況について

「学校・保育所・幼稚園の送り」を中心に、年間1,549回の活動が行われた。

内 容	回数(回)
学校の登校前、保育所・幼稚園の登園前の預かり	223
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	97
学校・保育所・幼稚園の送り	256
保育所・幼稚園の迎え	186
放課後児童クラブ終了後の預かり	17
学校の放課後の迎え	40
学校の放課後の預かり	38
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	5
保護者等の外出の場合の援助	104
放課後児童クラブの迎え	34
子供の習い事に伴う送迎	398

子供の習い事に伴う預かり	0
保育所・学校等休みに伴う送迎	7
保育所・学校等休みに伴う預かり	4
保護者の就労（短期・臨時・求職活動等）の場合の援助	128
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	1
子供の病気時の援助	0
その他	11
合 計	1,549

- ・合計活動件数 ⇒ 前年度比845件減（令和元年度 2,394件）
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、活動中止することがあり件数が減少した。

エ 広報活動について

- ・年間2回会報誌を作成し、会員、米子市社会福祉協議会、米子市役所、子育て支援センター、全国ファミリー・サポート・センター（約100か所）、他関係機関に配布し広報活動に努めた。
- ・米子市内の子育て支援センター（4か所）に来所の保護者に事業説明を行った。
- ・在宅福祉員研修会や、地域の子育てサークル活動に出向き事業説明を行った。

発行月	会報誌名	発行部数（部）
令和2年6月	よなごファミリー・サポート・センター Vol. 22	1,500
令和2年11月	ふれあい令和2年11月号	1,500

7 お祝い、激励事業

（1）お祝い事業

88歳（米寿）のお祝い

米寿（88歳）の対象者にお祝いの記念品を送った。

対象者数（昭和8年生まれ）802人

（2）激励事業

交通遺児に対し、激励金の支給を行った。

交通遺児に対する激励金の支給

対象児童数（人）	一人当りの支給額（円）	金額（円）
6	30,000	180,000

8 福祉バス運行事業

地区社会福祉協議会を始め市内の福祉団体、老人クラブ等の登録会員の地域社会交流、研修及び社会参加の促進を図るため、福祉バスの運行を実施した。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、運行を中止することがあり、回数が減少した。運行にあたっては、検温やアルコール消毒、利用定員を縮小する等の対策を行った。

ア 老人福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
36	400

イ 福祉バスの運行状況

利用回数（回）	利用延人数（人）
26	268

9 福祉団体等への支援・協力

(1) 募金団体の事務局運営

福祉に関係のある募金団体の事務局運営を行い、募金運動に協力した。

- ①鳥取県共同募金会米子市共同募金委員会
- ②日本赤十字社鳥取県支部米子市地区
- ③米子地区更生保護協力会

(2) 福祉団体の事務局運営と活動への支援

福祉団体の事務局運営を行うとともに、自主活動化の支援を行った。また、福祉団体及び協力団体等の活動に対し助成を行った。

ア 福祉団体の事務局運営及び活動助成 9団体

- ①米子市老人クラブ連合会
- ②米子市肢体不自由児者父母の会
- ③米子市手をつなぐ育成会
- ④米子市身体障害者福祉協会
- ⑤米子市連合母子会
- ⑥米子市遺族会
- ⑦米子更生保護女性会
- ⑧米子市地区社会福祉協議会長連絡会
- ⑨米子市ボランティア協議会

イ 福祉団体等の活動助成 5団体

- ①米子市民生児童委員協議会
- ②米子市連合婦人会
- ③鳥取県視覚障害者福祉協会西部支部
- ④米子保護区保護司会
- ⑤青少年育成米子市民会議

ウ 協力団体活動助成 1 団体

①米子市自治連合会

1 0 介護事業

(1) 介護事業の実施

「できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることを支える」という観点から、地域が必要としているサービスが実施できるように努めるとともに地域で信頼され、開かれた施設となるよう運営に尽力した。

米子市中央デイサービスセンターは介護事業検討委員会において令和2年度での閉鎖が決まり、令和2年7月に事業終了した。

よどえ通所介護事業所について、通常型で運営。要介護度の重度の傾向がある。地域住民、近隣の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所など信頼を得ている事で、継続し新規利用依頼がある。令和2年10月より新型コロナ感染予防対策にて、前年度比でサービス利用者数が9%減少した。

①通所介護事業実績

米子市中央デイサービスセンター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数 (回)	229	57	21										307
介護予防利用回数 (回)	21	4	0										25

よどえ通所介護事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険利用回数 (回)	469	436	460	483	466	447	459	406	375	368	394	469	5,232
介護予防利用回数 (回)	67	58	64	57	44	52	49	50	40	46	44	45	616